



センターだより はぐくむ

夢と志を持ち、未来を創るよっかいちのこども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

こどもたちの「今」を支え、「未来」へつなぐ ～就学前教育・保育の質向上をめざした1年を振り返る～

今、日本の就学前教育・保育は大きな転換期にあるのではないのでしょうか。こども家庭庁・文部科学省は、施設類型を超えた「3要領・指針の一本化」やこども自身が主体的に周囲を替えていく力「エージェンシー」の育成を重視しています。

これらは、本センターが創設されて以来、四日市市の保育者の皆さんと考えめざしてきた「一人ひとりの主体性を尊重する保育」のことだと思えます。

今年度も「教育・保育施設職員研修」で、著名な先生方から、直接、あるいはオンラインを通じて最先端の知見を学ぶ貴重な機会が続きました。

研修形態に応じ、集合型ではワークショップを取り入れ実践を振り返ることや明日からの保育に活かすことができる内容でした。また、アーカイブ配信を通し、自分の時間に合った受講につなげました。

研修計画予定にはありませんでしたが、東京大学大学院教授 遠藤俊彦先生による『アタッチメントが拓く子どもの未来-「安心感の輪」と非認知的な心の発達-』のアーカイブ配信がありました。「安心できる拠点があるからこそ、こどもは未知の世界へ挑戦できる」というこどもまんなか社会の根底にある愛着の重要性を今後も求めていきたいと思えます。

先生と子どもは共主体者である。共に創っていく関係性であることを学び、子どもが主体的になるように促すのではなく、関わりの中で創っていくのだと教えていただいた。子どもがもっとやりたい!明日もしたい!と思える場所に、学校もしていきたいと思えました。



子どもにとって、私たち保育者は、シグナルを出した時に、しっかりと受け止め共感して子どもが安心できる、そして、また挑戦しようと思えるような避難所、基地になることが大切だと改めて感じる事ができた。

遊びごころを作る環境や遊びを考えていく必要があると感じ勉強になった。遊びの中で学びへとつなげていくためにはどうしたらよいか考えるきっかけとなった。



就学前教育・保育の実践の広がりや小学校とのつながりを重ねていく研修の在り方を問いながら、「こども主体」の遊びや学びについて、自身に返しながら多様な職員間で学びあう機会を大切にしてきました。公開保育(研究)実践検討会や接続研修では、著名な先生を講師としてお迎えし、理論や実践の振り返りを行い、自分たちの現在地を知り、さらに「よっかいちのこども」のために、質の向上にむけて取り組むことを再確認しました。

それぞれの就学前教育・保育施設のよさを活かしながら、こどもとともに、世界を発見する「暮らしの共創者」へと進化していけるよう今後も追求していきたいと思えます。

今年度も様々な状況の中、本センターの研修及び施設をご活用いただきありがとうございました。皆さんののていねいなかわりが、こどもたちの「ねっこ」を育て、つないでいくべき貴重な日々であると思っています。今後も保育者の皆さんに伴走支援していく幼児教育センターでありたいと思っています。

ただ今、来年度の研修計画を作成中です、どうぞご期待ください。

I Love 図書紹介



図書室はいろいろなコーナーに分かれています。

今回は、「多様性を考える」コーナーからの紹介です。

「誰もが自分らしく」を支える一冊

「言葉の壁を越えて、保護者と園が手を取り合うための具体的なツールが満載です。明日からの登降園時のコミュニケーションにぜひ！」

SDGs ダイバーシティ Book

SDGs への関心と本質的な理解を促す教材としてだけでなく「ダイバーシティ」というテーマを通して自身のあり方を深める教材として日本の社会課題と関連づけた探究活動を促す教材として活用できます。
(本書カバー紹介文より)

監修/佐藤真久
編集協力/認定 NPO 法人 ETIC
宣伝会議

「外国につながる子ども」 の保育と保護者支援に使える 外国語例文・絵カード集

きっとクラス子どもたちが、たとえ言葉は通じなくても「一緒に遊ぼう」とその子に声をかけているでしょう。子どもたちから、そうした声かけが自然とでるような気持ちが大切なのではないでしょうか。本書により理解を深めていただき、保育を通じた国際貢献につながっていくことを願います。(本書「刊行にあたり」より)

函館短期大学教授
社会福祉法人日本保育協会/ 咲間まり子【編著】

ぎょうせい

「もっと学びたい」を支える一冊を届けたい

図書室には、今年度研修で講演していただいた先生方の著作も多数そろえております。「アタッチメント」「探究活動」「ドキュメンテーション」など、知りたいことなんでもご相談ください。

こどもたちと楽しむ大型絵本も続々と入荷中です。気になる本、読み聞かせをしたい絵本など、お問い合わせください。

「研修のあとのちょっと気になる」

「フォーラムで聞いたあの言葉、もっと詳しく知りたい」「外国につながるののある保護者の方への伝え方に悩んでいる」……そんな時は、ぜひセンター図書室へお立ち寄りください。多様性コーナーには、多様なルーツを持つこどもたちの心に寄り添う絵本や、すぐに使える多言語カードも揃っています。『知りたい』をアドバイザーも全力でサポートします！